

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
作成 平成21年12月14日

化学物質等のコード : 1674-8232

化学物質等の名称 : フタロシアニン銅(型)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類の定義上危険有害物に該当しない。  
危険性 : 可燃性であるが、通常の取扱で発火などの危険性は低い。  
有害性 : 眼に入ると、眼を機械的に刺激する。  
環境影響 : 粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激される。  
水生生物に対し急性毒性は低い。  
難分解性だが、濃縮性がない又は低いと判断される物質である。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名 : フタロシアニン銅  
別名 : ピグメントブルー15、銅フタロシアナート、C.I. 74160  
成分及び含有量 : フタロシアニン銅  
9.0 - 12.0% (銅として)  
化学式又は構造式 :  $C_{32}H_{16}N_8Cu$   
官報公示整理番号 : 化審法 : 5-3299  
安衛法 : 公表  
CAS No. : 147-14-8  
危険有害成分 : フタロシアニン銅

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。  
皮膚に付いた場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。  
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。  
飲み込んだ場合 : 水または食塩水を飲ませて吐かせる。  
必要に応じて医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 :  
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。  
(着火した場合) 初期の火災には、水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。  
消火作業の際には必ず保護具を着用する。  
消火剤 : 水、炭酸ガス・粉末・泡消火剤、乾燥砂

6.漏出時の措置

できるだけ掃き集めて空容器に回収した後、飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚などに付いたり、粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。  
保管 : 密栓して冷暗所に保管する。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない  
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない  
ACGIH : 設定されていない

設備対策：粉塵の発生する場所はできるだけ密閉化するか、または局所排気装置を設置する。  
保護具：必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

#### 9.物理的及び化学的性質

外観等：青色粉末、無臭  
沸点：分解  
融点：分解(600 )  
密度：1.62 g/mL (20 )  
溶解度：水に不溶。  
硫酸に可溶、硝酸に分解する。  
n-オクタノール/水分分配係数：log Po/w = 6.6

#### 10.安定性及び反応性

安定性・反応性：通常の使用条件においては安定である。  
酸化剤と混触すると激しく反応することがある。  
加熱すると分解し、窒素酸化物、一酸化炭素を発生する。

#### 11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性(50%致死量等を含む)：  
経口ラットLD50 >15gm/kg (RTECS)  
ラットLD50 >10000mg/kg(SIDS)  
飲み込んで有害性は低い。  
吸入(粉じん) 粉じんを吸入すると、鼻、のど、気管が刺激される。  
刺激性(皮膚、眼)：動物を用いた皮膚刺激性試験で「刺激性なし」と評価されている。  
(JETOC推定)  
皮膚刺激性は低いと推定される。  
眼に入ると、眼を機械的に刺激する。  
感作性：データなし  
生殖細胞変異原性：データなし  
発がん性：データなし  
変異原性：データなし  
生殖毒性：ラットに交配前14日から授乳3日まで経口投与した試験において、  
親動物の生殖毒性は否定されており、胎生期経口ばく露による  
催奇形性作用も観察されていない。(JETOC推定)  
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)：  
ラットの28日間経口投与、1000mg/kg/day(90日補正值：  
311mg/kg/day)で重大な毒性影響は見られず、さらにラットおよび  
マウスに13週間混餌投与後5%濃度( 2500mg/kg/day)でも  
毒性症状は観察されていない。これらの用量はいずれもガイダンス値  
区分2の上限を上回る。(JETOC推定)

#### 12.環境影響情報

分解性：分解度：0% by BOD(経産省既存化学物質安全性点検)  
難分解性である。  
蓄積性：濃縮倍率:< 0.33 ~ 11 (濃度 0.6mg/l):< 3.6 ~ (濃度 0.06mg/l)  
(経産省既存化学物質安全性点検)  
濃縮性がない又は低いと判断される物質である。  
魚毒性：ヒメダカ LC50 > 100mg/L/48hr  
水生生物に対し急性毒性は低い。

#### 13.廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

#### 14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷ぐずれ防止を確実に行う。  
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。  
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)  
輸送に関する国際規制  
陸上輸送：規制なし  
海上輸送：規制なし  
航空輸送：規制なし  
国連分類：非該当  
国連番号：非該当  
海洋汚染物質：非該当

## 15.適用法令

労働安全衛生法：「名称等を通知すべき有害物」 No.379  
化学物質管理促進法(PRTR法)：非該当  
消防法：非該当  
毒物及び劇物取締法：非該当  
船舶安全法(危規則)：非該当  
航空法：非該当

---

## 16.その他の情報

### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共立出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。